

<個別の貸借対照表>

流動資産	流動負債	} 総資本
	固定負債	
固定資産	自己資本	

総資本（個別）

= 流動負債 + 固定負債 + 自己資本

<連結の貸借対照表>

流動資産	流動負債	} 総資本
	固定負債	
固定資産	自己資本	
	非支配株主持分	

総資本（連結）

= 流動負債 + 固定負債 + 自己資本 +
非支配株主持分

結果として連結の貸借対照表における総資本は以下のように定義できます。

総資本 = 流動負債 + 固定負債 + 自己資本 + 非支配株主持分



非支配株主持分とは子会社の資本のうち、親会社が所有している資本を除いた部分です。つまり、親会社以外の株主が所有している資本（出資分）の合計をいいます。

また、分析の便宜上、繰延資産は考えないものとします。

1 収益性分析

重要

一般的に投資を考える場合、まず**収益性**の高い企業であるかどうかポイントとなります。収益性は、利益の絶対額が大きいほど高くなりますが、企業間の比較では、それだけでは不十分です。そこで収益性分析に用いられるのが、**資本利益率**と**売上高利益率**です。

資本利益率	利益というものを、 資本 を利用した結果として生じるものとみた場合、 投下資本 と関連づけて収益力を判断するのが資本利益率です。
売上高利益率	利益の基本となる源泉は 売上高 であるので、 売上高 と 利益 を関連づけます。

1 資本利益率

資本利益率とは、**資本**を利用してどれだけ**利益**を出したかという指標です。主に資本が、「総資本」の場合、「自己資本」の場合、「資本金」の場合があります。

$$\text{資本利益率(\%)} = \frac{\text{利益}}{\text{資本(期首・期末平均)}} \times 100$$

利益 (税引後当期(純)利益)

資本(期首・期末平均)

- 総資本
- 自己資本
- 資本金

分母の「資本」には、期首の資本と期末の資本を平均したものの(平均資本)を用います。また、分子の「利益」には、通常、当期の税引後純利益の額を用います。



(1) 自己資本利益率 (ROE : Return On Equity)

自己資本に対する**当期(純)利益**の比率を表しています。株主から預かった資金をどれだけ有効に使っているかを示す指標です。

一般に自己資本利益率が高いほど、企業の収益性は高くなります。

$$\text{自己資本利益率(\%)} \text{ (ROE)} = \frac{\text{当期(純)利益}}{\text{自己資本 (期首・期末平均)}} \times 100$$

貸借対照表

	資本

この部分を使って
どれだけ利益を出
したかを見る

利益



(2) 総資本利益率 (ROA : Return On Asset)

企業に投下された**総資本**の収益力を表すものです。株主から預かった資金や借入金などの負債をいかに有効に活用し、利益をあげているかを示す指標です。

$$\text{総資本利益率(\%)} \text{ (ROA)} = \frac{\text{当期(純)利益}}{\text{総資本 (期首・期末平均)}} \times 100$$